

## 2021年7月理事会議事録

日 時：2021年7月24日（土）14：00～17：25

場 所：オンライン会議

出席：辻 秀人・佐古和枝・佐藤宏之・足立佳代・植田 真・大塚昌彦・岡林孝作・亀田直美・河村好光・小菅将夫・惟村忠志・滝沢 誠・田尻義了・谷口 榮・寺崎秀一郎・時枝 務・中嶋郁夫・中山誠二・萩野谷 悟・馬淵和雄・溝口孝司・宮里 修・高麗 正、監事：都築恵美子・橋本裕行、（事務局：林 純子）

欠 席：白杵 勲

進 行：田尻義了

議 長：辻 秀人

田尻理事から、本日の出席者は25名（うち理事23名）で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

### 議案第641号 退会会員の承認について

中嶋理事から、北海道の\*会員、岡山県の\*会員から2021年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。なお、未納会費のある会員から提出された退会届けについては、未納額を納入してからの退会で承認されることとし、未納額の納入を求める。

また、賛助会員ではフレンドシップ会員の\*会員、及び学生会員の\*会員から2020年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

### 議案第642号 新入正会員審査日程及び入会資格審査委員の承認について

中嶋理事から、2022年度入会の新入会員（正会員）の入会資格審査日程並びに入会資格審査委員候補者14名の提示があり、原案通り承認された。

### 議案第643号 理事選挙日程及び選挙管理委員の承認について

大塚理事から、次期（2022年）理事選挙の日程、並びに選挙管理委員候補者13名の提示があり、原案通り承認された。なお、今後の理事選挙制度検討小委員会の検討によっては、選挙の工程に一部変更があり得るとの説明があった。

### 議案第644号 機関誌『日本考古学』編集委員会の委員長の変更について

大塚理事から、機関誌『日本考古学』第53号の編集・刊行については大塚理事が委員長（編集長）に就任するとの説明があり、原案通り承認された。なお、委員長が刊行号数ごとに交代することに対する継続性や、編集長を理事が務めることで機関誌に理事会の権限が及ぶ懸念が示され、今後の検討が求められた。

### 議案第645号 『年報74』執筆者選定委員の承認及び執筆要項について

河村理事から、『日本考古学年報』74（2021年度版）の執筆要項が提示され執筆内容の

説明があるとともに、各理事に執筆者の選定委員案が提示され、原案通り承認された。続けて、各理事には担当になった時代・地域の執筆者について、期限までの選定・連絡が求められた。なお、外国考古学の枠組み・範囲については今後の検討課題として整理することとなった。

#### **議案第646号 国際交流委員会の委員長の変更及び委員の選任について**

宮里理事から、西藤清秀委員長・田畑幸嗣委員2名が任期満了に伴い退任するため、小澤正人委員が委員長に就任するとともに、佐々木憲一会員を委員として選任したいとの説明があり、原案通り承認された。

#### **議案第647号 協会のアウトリーチ活動担当の設置について**

佐藤副会長から、協会のアウトリーチ・社会貢献に関する活動について、これまで担当理事や各委員会で個別に対応してきたが、横断的な内容に対応するため、窓口として一括対応する部署を設置し、担当として副会長2名を充てたいとの提案があった。担当部署はアウトリーチ活動の企画・立案を行い、実施に当たっては担当理事や各委員会と協議して行うこととしたとの説明があり、原案通り承認された。

#### **報告第831号 新入正会員応募のお知らせの一部改正について**

中嶋理事から、2021年度入会者の第1回入会資格審査委員会時に、提出業績のうち調査報告書の主要部分の明記について意見が出されたことを受け、改めて、6月27日（日）に当時の入会資格審査委員及び組織担当理事で検討を行った。協議の結果、規定や内規等は改定せず、「正会員入会申込み受けのお知らせ」の募集要項「4. 注意事項」(2)に「正会員入会資格基準に関する内規」を加えること、また「③業績として提出された調査報告書のうち、経過、遺跡の位置と環境、調査方法など専門的意味の乏しい単なる事実記載は業績に含まれません（「正会員入会資格基準に関する内規」第7条(3)号参照。）」を加えることとしたとの報告があり、了承された。

#### **報告第832号 2021年度総会（専修大学）におけるハイブリッド方式の成果と課題**

田尻理事から、2021年度第87回総会後の5月27日（木）に、2021年度第87回総会の開催に関わるワーキンググループを開催し、参加者の意見集約やオンライン方式の反省点及び改善点の確認を行い、今後の参考とすることとしたとの報告があった。

また、6月11日（金）に企画担当理事の会議を開催し、①2021年度金沢大会の実施方法・体制について意見交換を行った。②2023年度以降の総会・大会開催地について協議した。③第87回総会から『研究発表要旨』の体裁を変更したが、行間が狭く不都合が生じたので、2021年度金沢大会以降、改めて行数を調整することとした。④今後の総会及び関連行事開催について、対面参加再開後もオンライン方式を継続する場合の課題について整理した。⑤図書交換会の実施のあり方について検討を行ったとの報告があり、了承された。

#### **報告第833号 2021年度金沢大会の実施概要について**

河村理事から、2021年度金沢大会の日程及び実施概要の説明があった。金沢大会はオン

ライン方式を主軸に開催し、対面開催については新型コロナウイルス感染状況次第で実施の有無を検討すること、また新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から懇親会・エクスカーション（見学会）・図書交換会は実施しないとの説明があり、了承された。

#### **報告第834号 学協会連絡網の配信と利活用の実施**

辻会長から、2020年12月理事会議案第609号で承認され全国の考古学関係学会に参加を呼びかけた連絡網について、表示不可の学会以外の一覧が提示され、今後、各種連絡に活用していくとの報告があり、了承された。

#### **報告第835号 各委員会等における2021年度会議等報告について（その3）**

##### **1 機関誌『日本考古学』編集委員会の報告**

大塚理事から、6月20日（日）に編集委員会をオンラインで開催し、①『日本考古学』第53号の掲載内容及び刊行スケジュールについて協議した。②第13期査読委員が任期満了となるため、第14期査読委員の依頼・選考を行ったとの報告があり、了承された。なお、併せて各理事に機関誌への原稿投稿が依頼された。

##### **2 社会科・歴史教科書等検討委員会の報告**

小菅理事から、6月13日（日）に委員会をオンラインで開催し、①第87回総会セッションの総括を行った。セッションの討論については時間が限られていたことから、改めて委員会内での実施を検討しており、最終的な成果は機関誌『日本考古学』への投稿を予定している。②金沢大会ポスターセッションの内容の検討を行った。③今年度から中学校教科書が改訂されたことを受けて検討を行うにあたり、各教科書ごとに分担を決定したとの報告があり、了承された。

##### **3 埋蔵文化財保護対策委員会幹事会の報告**

馬淵理事から、5月29日（土）に全国委員会をオンラインで開催し、2020年度の活動報告及び2021年度活動方針の確認を行ったことが報告された。

また、5月16日（日）及び6月20日（日）に幹事会をオンラインで開催し、①港区高輪築堤跡の保存問題について日本歴史学協会から共同声明発出の提案があり、文案を検討中である。②横浜市稲荷前古墳群隣接地の開発計画について、適切な取扱いを求める要望書を5月10日に提出し、回答を受け取った。③広島県広島市広島城跡におけるサッカースタジアム建設に伴う調査で確認された被爆遺構について報告された。その後、7月幹事会で検討し保存要望書を提出した。④出雲市旧海軍大社基地の開発について、4月23日に要望書を提出し、現地の状況を注視している。⑤徳島市徳島城跡隣接地について要望書の回答を受けて後の状況が報告され、引き続き注視していくとの報告があり、了承された。

##### **4 広報委員会の報告**

谷口理事から、6月18日（金）に委員会をオンラインで開催し、①8月刊行の『会報』203号について目次案の確認、及び高輪築堤跡に関する動画公開の執筆担当を決定した。②「考古学スクエア・春」について6月9日付で募集を開始し、また出版社合同パンフレ

ットも6月中旬に会員に発送した。③協会ホームページは掲載項目の整理が済んだので、新年度の活動では閲覧度の確認等を行い、さらなる活性化に務める。④リレー・コラム「コロナ禍の考古学」の実施期間について協議し、来年度総会まで掲載を継続することとしたとの報告があり、了承された。

## 5 研究環境検討委員会の報告

亀田理事から、6月13日（日）に委員会をオンラインで開催し、①研究倫理部会の矢島國雄部会長から、文化審議会博物館部会の博物館法改正に関するワーキンググループの報告を受け、現状と課題を共有した。②第87回総会セッション及びポスターセッションについて総括を行い、検討課題を整理したとの報告があり、了承された。

## 6 国際交流委員会の報告

寺崎理事から、7月7日（水）に委員会をオンラインで開催し、①西藤委員長及び田畑委員の任期満了に伴い、新委員会体制について協議した。②海外への遺跡紹介をホームページで行っている英文コンテンツについては、今年度は英文・韓文・中文で実施することとなり、掲載遺跡を「発掘された日本列島2021」展より選択、決定した。また、併せて高輪築堤跡についても掲載を予定している。③考古学四学会合同講演会実行委員会に国際交流委員会から担当理事・委員が参加することを確認したとの報告があり、了承された。

## 7 災害対応委員会の報告

岡林理事から、7月14日（水）に本年度第1回の文化遺産防災ネットワーク推進会議がオンラインで開催され、当会からは災害対応委員会の岡林理事・菊地芳朗委員2名が参加した。会議では、推進会議を主催する文化財防災センターの体制についての説明や、各参加団体の文化遺産防災に係る活動報告が行われたとの報告があり、了承された。

### 報告第836号 2021年度科学研究費補助金の交付決定通知書の受理について

高麗常務理事から、本年度の科学研究費補助金については交付申請書のとおり金額で交付決定の通知があったことが報告され、了承された。

### 報告第837号 九州国立博物館における実施事業に関わる後援名義使用の承認について

高麗常務理事から、九州国立博物館（福岡県立アジア文化交流センター）から「全国高等学校歴史学フォーラム2021」についての後援（名義）依頼があり、名義の使用を承認したとの報告があり、了承された。

### 報告第838号 国立歴史民俗博物館共同研究の公募について

高麗常務理事から、国立歴史民俗博物館から来年度の共同研究の公募案内が届いており、申込の方法が説明された。

## その他

### 1 第87回（2021年度）総会抄録について

高麗常務理事から、第87回（2021年度）総会抄録について、各理事に確認が求められた。  
以 上